

10月31日投票の衆院総選挙は、政権交代を実現する市民と野党の共闘に新たなページを開きました。県同盟は、国賠の請願署名の紹介議員になつてくれた、1区・寺田学候補（立民）、2区・緑川貴士候補（立民）と、3区の杉山あきら候補（共産）の三氏に、「必勝」の「ため書き」と、野党共闘実現と紹介議員の継続をお願いした「要望書」を届けました。

2区では、緑川候補が、共謀罪成立と治安維持法肯定の元法務大臣の金田候補を「落選」させました。
比例東北
高橋千鶴子さん当選
1区 寺田学さん
比例で復活当選
2区 緑川貴士さん
小選挙区で当選
3区 杉山あきらさん
大健闘（小選挙区・共産党過去最高）

10月31日投票の衆院総選挙は、政権交代を実現する市民と野党の共闘に新たなページを開きました。県同盟は、国賠の請願署名の紹介議員になつてくれた、1区・寺田学候補（立民）、2区・緑川貴士候補（立民）と、3区の杉山あきら候補（共産）の三氏に、「必勝」の「ため書き」と、野党共闘実現と紹介議員の継続をお願いした「要望書」を届けました。

区でも互角の闘い、3区でも大健闘しました。これらは野党「共同」の重要な成果です。残念な結果もありましたが、参院選での野党前進のため、市民と野党の「共闘」実現に力をつくしましょう。

総選挙の結果について



【秋田県版】

No. 365

2021年11月15日

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟発行人：田中幹夫
〒113-0034 東京都文京区湯島2-4-4秋田県本部
〒014-1413
秋田県大仙市角間川町
宇東中上町27
最上健造方
TEL&FAX
0187-65-2115

同盟運動の目的

- 1、国は、治安維持法が人道に反する悪法であったことを認めること
- 2、国は、治安維持法犠牲者に謝罪し、賠償を行うこと
- 3、国は、治安維持法による犠牲者の実態を調査し、その内容を公表すること

比例東北

藤本ゆりさん
ご苦労様でした。

※比例選挙は共産党が秋田県全体で得票率前進。3区は得票数・得票率とも前進しました。



1区 杉山さん

2区 緑川さん

1区 寺田さん



比例 高橋さん



比例 藤本さん

10月の市議選の結果 (全員が国賠会員です)

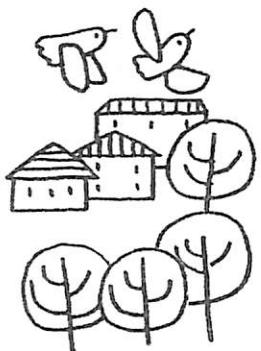
【横手市】

当選 鈴木 勝雄 さん

当選 立身 万千子さん

【湯沢市】
当選 佐々木 隆一さん
当選 宮原 晃さん

【湯沢市】
当選 藤岡 庄一さん
落選 宮原 晃さん



連載もそろそろ終わりになる今、私が抱いている感概について最後に述べておきたい。

私が日本文学研究に進むことに、日本共産党の秋田市議会議員をしていた母方の従兄弟加賀屋孝三は棚橋貞雄が新聞屋だった血がどこか流れてい、文学研究という我々従兄弟と毛色の変わった分野へ進むということになつたのかと言つていた。その通りになつた。

棚橋貞雄が棚橋赤堂のペンネームで物書きをしていました（秋田木材新聞社）資料や農民運動などの資料を全部、貞雄の長男雄平（故人）が焼却処分したことは以前書いた。その資料の山を見せられたことが、少年加賀

唯の末裔といってよいだろうか。しかし、勝子の三十三回忌など、忘れられた活動家の故人を偲ぼうとすることを正雄はしなかつた。少年時代の正雄が、いわゆる特高に嫌がらせされた日常に対するトラウマがそうさせたのか、真意のほどは分からぬ。

分からぬと言えば、勝子のあとに貞雄が再婚した妻（旧姓相馬キヨ、眼科医で勝子の東京女子医専の後輩）は息子たちに貞雄の生涯を語つたろうか分からぬ。その義理の伯母キヨの

病床を私が見舞い、亡くなつたときに雄平と私は懇談する機会が何度もあつたけれど、先妻の勝子がどんな人だつたか、その存在すら雄平は理解していなかつた。勝子が亡くなつても勝子を思慕してやまなかつた祖母タマに対する、キヨとタマの嫁・姑のこじれた仲の悪口だけを雄平は並べた。人の生き方の違いを垣間見た感じであった。

加賀屋孝三からは、私の両親が政略結婚で、戦後、秋田市と合併する前の最後の村長を務めた人との婚約の約束があり、嫁に出すことを拒んでいた母方の事情などをいろいろ聞かされた。でも、結局は政略結婚が成り、貞雄が亡くなつた戦後は祖母タマと私の母親は貞雄の実家を離れ別居、復員してきた正雄と一家を構え仏壇も法

筆者は土崎出身。1947年生まれ。元帝京大学教授。日本近世文学研究者。千葉県松戸市
在住



寄稿

棚橋貞雄のこととも（その8）

棚橋 正博

連載もそろそろ終わりになる今、私が抱いている感概について最後に述べておきたい。

私が日本文学研究に進むことに、日本共産党の秋田市議会議員をしていた母方の従兄弟加賀屋孝三は棚橋貞雄が新聞屋だった血がどこか流れてい、文学研究といふの間にか馬齢を重ねて調べることになつたのかと言つていた。その通りになつた。

棚橋貞雄が棚橋赤堂のペンネームで物書きをしていました（秋田木材新聞社）資料や農民運動などの資料を全

くかかれていて、文部省の「赤堂」の文筆部がどうだつたのか、今でも興味津々なのだが、いつになくこんにちを迎えてしまい、お教え頂ければ有難い。

貞雄と一緒に活動していた妻の勝子は小児科医を営む傍ら、農民活動や共産党活動をしたり支援したりしていく資料を残すことはなかつた。ただ貧しい人たちがつた。ただ貧しい人たちの医療活動と共感する仲間の支援に回るのが役目で、私が聞く限り、名医というより共産党活動と共に医療に尽力したという話だけである。カルテを書いて患者を診ることに忙殺されたで

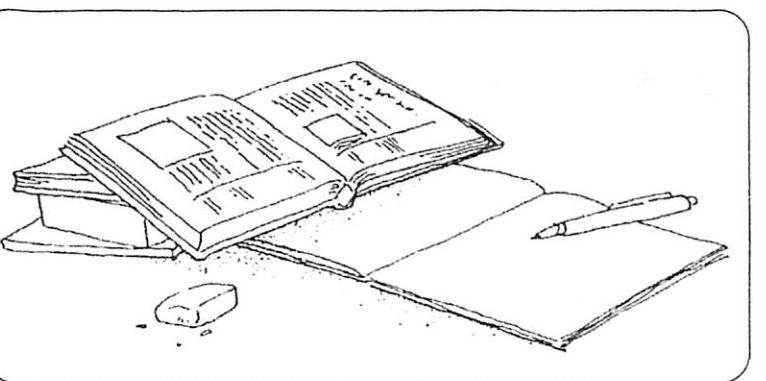
了の医療活動と共に医療に専念したという話だけである。カルテを書いて患者を診ることに忙殺されたで

ある日常生活で、そうした農民組合などの人たちと宣伝資料などを作る暇はなかつたろう。

そんな最中に治安維持法で勝子は検挙、入牢している。貧しき小作農の人たちの医療に尽くして貢献することが、腐った政治権力者にとつて不快で、小児科医

を抹殺にかかつたのである。人徳名声などある「気に食わない分子」は徹底的に抹殺するというのが腐敗政治の常套である。その手先となつて拷問などする特別警察の当事者たちの精神構造は不思議で、いつたいども知られておらず、巷間に偽は分からぬ。今や世界遺産になつている白神山地の森林伐採を、「負ける戦で伐採はダメだ」と秋田木材新聞社で論陣を張つたことを知られておらず、巷間に転向説だけが云々されていいる。腐敗権力に体を張つて抵抗した、まさに『不屈』の人だつた勝子のことについても、もう語る人が誰もない。

その勝子から養子に迎えたといと言われたのが私の父正雄である。とすると私な



「不屈」再録シリーズ⑧
『抵抗の群像』第一集（2008・3・15）より

『検挙二回、女医の棚橋勝子』



近江谷 昭一郎

棚橋勝子さん（旧姓原城）は、一八九九（明治三十二）年七月二七日、北海道有珠郡壮瞥村（町）で生まれた。北海道で女学校三年を退学後上京し、東京女子医専に入学、在学中に、堺真柄、山川菊栄らが無産婦人の解放をめざして結成した赤潤会に入り、一九二二（大正一一）年三月八日の第一回国際婦人デーに参加して

いる。同年四月、女子医専学生・川上あい（のちの黒田寿男夫人）、戸沢美代子（のち、名倉、東京で整骨医院開業）、佐々木はる子（のち鶴見で内科開業）と共に、社会問題研究会“七日会”を結成し、婦人に対する社会主義の啓蒙宣伝活動をおこない、活動中検挙されている。

また、勝子さんは、同時期

に山川均主宰の社会主義研究グループ“水曜会”に参加していた。この水曜会には高橋貞樹、徳田球一、河田賢治、渡辺政之輔、川合義虎、金子健太、内野竹千代、田島ひで一（大正一一）年三月八日の第一回国際婦人デーに参加して

また、勝子さんは、同時に山川均主宰の社会主義研究グループ“水曜会”に参加していた。この水曜会には高橋貞樹、徳田球一、河田賢治、渡辺政之輔、川合義虎、金子健太、内野竹千代、田島ひで一（大正一一）年三月八日の第一回国際婦人デーに参加して

棚橋貞雄は、明大卒後土崎港町に帰郷し、秋田普選連盟を結成、また政治研究会を発会、さらに土崎合同労組をつくり、労働農民党秋田県連を結成、普選最初の県会議員選舉に秋田市から立候補し、日本共産党秋田県組織確立の責

任者として活動していた。二人の結婚式は、土崎神明社の境内に、一五〇人が参加して「更に勇敢闘うべし」と激励。全国の労働組合、農民組合、思想家たちから集まつた

勝子さんの夫となる棚橋貞雄も明治大学学生で、この水曜会のメンバーであった。

検挙されるなどしたものの、子医専を卒業（四回生）、その後、東京大森駅近くの小児科医院に勤務した。のち秋田赤十字病院小児科の医師として赴任。一九二七（昭二）年三月、東京在学中から“水曜会”などの活動の中で知り合つていた棚橋貞雄と結婚し、それを契機に病院を解雇されたり。勝子さんは書留郵便で解雇通知をうけとり、直ちに突き返してやつたと伝えられている。

棚橋貞雄は、明大卒後土崎港町に帰郷し、秋田普選連盟を結成、また政治研究会を発会、さらに土崎合同労組をつくり、労働農民党秋田県連を結成、普選最初の県会議員選舉に秋田市から立候補し、日本共産党秋田県組織確立の責

任者として活動していた。二人の結婚式は、土崎神明社の境内に、一五〇人が参加して「更に勇敢闘うべし」と激励。全国の労働組合、農民組合、思想家たちから集まつた

赤十字病院を解雇された勝子さんは、一九二七（昭二）年五月、土崎港町（秋田市）で小児科医院を開業、開業広告では「毎週土曜日午後一時より三時迄無料にて育児の相談に応じます」を呼びかけるなど、庶民のための医療活動に心を尽くした。当時、秋田県の医師は四九七名、そのうち、女医は七名だけで貴重な存在だった。

この棚橋医院は開業早々から非常な繁盛ぶりをみせており、後日の開業披露宴には町長を初めとして同町官民の名士など百名を越える人々が参

2021年11月15日(月)

1989年5月8日第三種郵便認可

不届（「秋田県版」No.365）

事件の弾圧犠牲者の救援活動によりくみ、共産党の運動と組織を支えるために懸命の活



- 動を続けた。
しかし、夫の貞雄が牢獄のなかで結核に犯され保釈後の看病に当たり、その結果、自分も罹病し、一九三二（昭七）年末から静岡県熱海町伊豆山で転地療養をするが、翌年一〇月四日、三四歳の若さで死亡した。彼女の生涯は文字どおり進歩と革命に捧げたものであった。
- （筆者：近江谷昭二郎、『不届』二〇〇三年四月号）
- ※この『不届』は本部発行版です。
- ▼『山宣に学ぶ』
本庄豊著（日本機関紙出版
1200円）
- ▼『緊急事態と憲法』
右崎正博ほか（学習の友社
1100円）
- ▼『情報隠蔽国家』
青木理著（河出文庫847
円）
- ▼『治安維持法の「現場」』
荻野富士夫著（六花出版
2500円）
- ▼『日本学術会議の使命』
池内了ほか（岩波ブックレット
ト660円）
- ▼『日本の侵略——加害と被害の真実』
赤旗編集局（新日本出版社
1600円）
- ▼『沖縄戦の子どもたち』
川満彰著（吉川弘文館
1870円）
- ▼『核兵器も戦争もない世界を創る提案』
大久保賢一著（学習の友社
1540円）
- ▼『日本の侵略——加害と被害の真実』
赤旗編集局（新日本出版社
1600円）

1989年5月8日第三種郵便認可

不届（「秋田県版」No.365）

2021年11月15日(月)

事件の弾圧犠牲者の救援活動によりくみ、共産党の運動と組織を支えるために懸命の活

- 加している。同時に棚橋医院の離れ家屋は、労働農民党解散後の新党準備会の事務所としての役割を果たしており、社会運動活動家のたまり場となっていた。土崎劇場に山本宣治代議士を迎えての演説会が、警察の干渉で突然会場取消しとなるが、この時のことを見ると剥がれているので後から語っている。
- 勝子さんは、夫貞雄と共に三・一五大弾圧で検挙され、釈放されるが、貞雄は懲役三年（求刑七年）の実刑となつた。翌年の四・一六大弾圧で、勝子さんは再び検挙され、釈放後は、三・一五、四・一六事件の弾圧犠牲者の救援活動によりくみ、共産党の運動と組織を支えるために懸命の活

乙女がいた
声をあげた
権力に抗して

わが青春つくるとも

—伊藤千代子の生涯—

桂 壮三郎 監督作品

増補新版・原作：「時代の証言者 伊藤千代子」藤田廣登（学習の友社・刊）

企画・プロデューサー：桂 壮三郎 ラインプロデューサー：山地 畏日本・監督補佐：宮負秀夫 撮影監督：田宮健彦 アシスタントプロデューサー：平沢清一 監修：赤津淳一
美術監督：安藤 寛 音楽：山谷和明 助監督：小野寺昭洋 制作担当：星 孝之 キャスティング：石井美保子 升本由喜子 衣装：おかもと技芸 ヘアメイク：荻みみ
制作協力：アトリエ羅夢 製作：映画「伊藤千代子の生涯」ゴーゴービジュアル企画

2021年秋クラインクイン
2022年3月 完成



竹下景子
(安井てつ)



窟塙俊介
(法野 見)



金田明夫
(土屋文明)



新人・井上千百合子（伊藤千代子）



石丸謙二郎
(猪四)



嵐 圭史
(老人)



印南 唯
(香村樹里)



角田萌果
(辻沢結美子)



田上 唯
(瀬戸多恵子)



平田 舞
(今井久代)



塙瀬香名子
(坪井ふみ)



曾川留三子
(法野ステ)



宜野座万鈴
(A. 荒枝)



賛同団体

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟 日本国民救援会 日本婦人団体連合会 婦人民主クラブ 新日本歌人協会 全日本年金者組合
全日本年金者組合東京都本部 全日本民主医療機関連合会 宇治・長野・大阪・東京各山宣会（2021年4月現在）

chiyoko-cinema.jp

